慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	ミノア王宮の發掘者イヴァンズの訃
Sub Title	
Author	間崎, 万里(Masaki, Masato)
Publisher	三田史学会
Publication year	1942
Jtitle	史学 Vol.20, No.3 (1942. 3) ,p.46(382)- 46(382)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	餘白錄
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19420300-0046

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ミノア王宮の發掘者イヴァンズの訃

西紀前二千年紀に海國（タラソクラシー）として東地中海に霸權を揮つたらしいクリート島諸市の中で、最も重要なクノソスの遺蹟を發掘調査して、纖細優雅なる古代クリート文化を、本文四卷六册の大報告書『クノソスのミノア王宮』（一九二一―三五、外に索引一册一九三六年刊）のうちに示した偉大なる考古學者であつた英國學士院會員サー・アーサー・イヴァンズ博士は、ロンドン・タイムス週刊（一九四一年七月十六日號）の報ずる所によれば、その火曜日に九十回の誕辰を祝したばかりで、次ぎの十一日の金曜日には牛津市ボアスヒルのヨールベリーで惜くも逝去されたといふ。

氏は一八五一年七月八日ハートフォード州ナッシュ・ミルスの富める製紙業者で且つ名高かい考古家、蒐集家、並に科學者であつたサー・ジョン・イヴァンズの長男に生れ、多分に父の趣味をうけつぎ、ハローを終へてブレズノーズに轉じた頃には、英國及び北歐考古學の相當の權威者になつてゐた。

一八八二年以來は牛津に居を構へ、一八八四年舊アシュモレアン博物館の主事となり、枯骨に埋もれて新生活を始め、一八九六年に開館した同名の新博物館は氏の計畫に基き十二年後に大學の陳列館を合併し、氏がその館長となつた。

氏は一八九三年以來度々クリート島に赴き、ミケネ文化とクリート文字の體系を主張したが、全世界の學者考古家を驚嘆せしめたクノソスの踏査は一九〇〇年初春に着手せられたのであつた。一九〇六年以後はその訪問期間も短かく、產を積み別莊を新築したことの外、その發掘にはさして見るべきものがなかつた。同年末名譽主事の稱號を得てア博物館を隱退し、一九一一年騎士に敍せられ、希臘學會の長に、一九一三年には考古學會の長になつた。

牛津では考古學の特別講師に留任し、又ブレズノーズの學友でもあつた。一九一六年から一九一九年までは、英國科學奬勵會の總裁であつた。（間崎万里）